

# Metabolomics profile of Japanese female patients with restricting-type anorexia nervosa

宮田, 典幸

<https://hdl.handle.net/2324/4784497>

---

出版情報 : Kyushu University, 2021, 博士 (医学), 課程博士  
バージョン :  
権利関係 : (c)2020 The Authors. Published by Elsevier Inc.

(別紙様式2)

氏名	宮田 典幸
論文名	Metabolomics profile of Japanese female patients with restricting-type anorexia nervosa
論文調査委員	主査 九州大学 教授 中尾 智博 副査 九州大学 教授 康 東天 副査 九州大学 教授 林 哲也

## 論文審査の結果の要旨

申請者らは、神経性やせ症制限型（ANR）の女性患者10人の血清代謝物を健常対照と比較した。ANR群では、数種類のアミノ酸値が対照群より低く、p-クレシル硫酸、インドール3酢酸、フェニル硫酸、の3種類の尿毒症関連物質の値は高かった。またANR群のみ、血清p-クレシル硫酸値と糞便中*Clostridium coccoides group*数および*Clostridium leptum subgroup*数との間に正の相関を認めた。ANR群において、尿毒症関連物質の増加に腸内細菌が関与する可能性がある。

以上の成績はこの方面の研究の発展に重要な知見を加えた意義あるものと考えられる。本論文についての試験はまず論文の研究目的、方法、実験成績などについて説明を求め、各調査委員より専門的な観点から論文内容及びこれに関連した事項について種々質問を行ったが適切な回答を得た。

よって調査委員合議の結果、試験は合格と決定し、博士（医学）の学位に値すると認める。